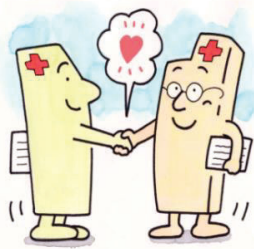
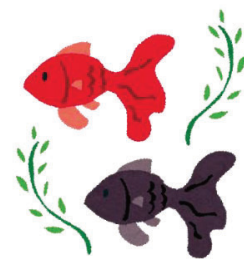


第211号

連携室だより



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院

帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。

救急隊への特別講義ご報告

初期研修医 三宅 陸斗



平素より大変お世話になっております。帯広第一病院初期研修医の三宅陸斗と申します。

2023年6月22日に帯広消防署にて行われた、奥田拓史救急センター長による特別講義に同行しましたので、報告させていただきます。

「よりよい救急搬送のために～効果的なプレゼンテーションの仕方とショックの認知について～」という題材で大きく2部に分けて発表されました。初めに救急隊による病院への受け入れ搬送時の電話において、特に重要な情報は何か、そしてその情報を簡潔にまとめる方法などについて、症例を踏まえてアドバイスされました。

その後、患者接触時のバイタルサイン確認における注意点や重要な項目などについても講義されました。私自身にも非常に勉強になる講義となり今後の診療において役立てていけたらと思います。

救急隊の皆様には日頃より大変お世話になっております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



今号の内容

- ・救急隊への特別講義ご報告 初期研修医 三宅 陸斗 (1)
- ・帯広第一病院地域医療連携室室長就任のご挨拶 地域医療連携室長 下川原 一彦
初期臨床研修医向け超音波ガイド下中心静脈穿刺トレーニング 初期臨床研修プログラム責任者 外科 井伊 貴幸 (2)
- ・2022年度健康管理センター実績報告 健康管理センター 保健師長 柴田 加奈江 (3)
- ・Pink Ribbon Campaign 2023 開催案内 健康管理センター 保健師 田中 美陽子 (4)

帯広第一病院地域医療連携室室長就任のご挨拶

地域医療連携室長 下川原 一彦



この度、音更病院地域医療連携室より帯広第一病院へ異動となりました下川原と申します。地域の先生方や関係機関の皆様には日頃より大変お世話になっております。

私事ですが帯広第一病院での勤務は11年ぶりとなりますが、法人内各施設での経験を活かして多職種間の連携にも尽力できればと考えております。

当法人の基本理念にもあります「患者・住民・地域から頼りにされる法人」を目指し、地域医療においては患者様には「医療」のみではなく、「介護」「予防」「住まい」「生活支援」などが一体的に提供される事が理想とされております。医療提供側から様々な職種の方と連携させていただき、地域住民の皆様の健康・福祉を推進していくのも、地域医療連携室の重要な役割だと思っております。

患者様やご家族はもちろんの事、医療機関や介護・福祉関係者の方々が気軽にお越しいただき、地域の皆様のお手伝いができる連携室を目指したいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

初期臨床研修医向け超音波ガイド下 中心静脈穿刺トレーニング

初期臨床研修プログラム責任者 外科 井伊 貴幸



中心静脈穿刺は、初期臨床研修医が習得すべき基本的手技として、厚生労働省のガイドラインに準じて多くの施設で行われている一方で、中心静脈穿刺による合併症は致命的になることがあり、安全に処置を行うことが求められています。

当院では2023年7月に初期臨床研修医3名に対して、人型シミュレーターモデルを用いた超音波ガイド下内頸静脈穿刺及び、尺側静脈穿刺トレーニングを行いました。

左手で超音波プローブを持ち血管を描出しながら、右手で穿刺針を持ち血管に刺入する手技は、頭で思い描くほど簡単ではありません。平面である超音波の断層像を3次的に動かし針の先端部分を捉えなければならないためです。まず初めにコツやピットフォールをまとめたスライドによる講義を30分程度受けてもらった後に、モデルで穿刺してもらいました。



研修医の先生方は講義の内容をしっかりと理解し、超音波ガイド下での穿刺を成功させておりました。今後もトレーニングを重ねることで、患者様に安全に処置を行うことができるようになると思います。将来の十勝の医療を支えるであろう若い世代の教育も、当院の使命として引き続き力を入れていきたいと思っております。

2022年度健康管理センター実績報告

健康管理センター 保健師長 柴田 加奈江

平素より地域の皆様には大変お世話になっております。

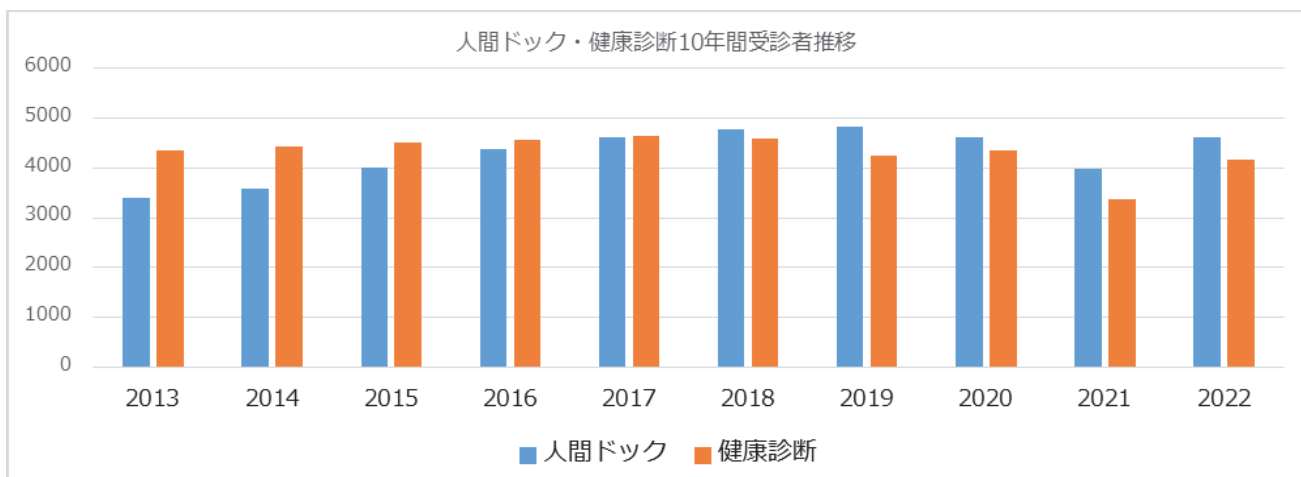
また、当院の健康管理センターをご利用いただき誠にありがとうございます。

2022年度の実績報告をさせていただきます。2021年度はコロナ禍の影響もみられましたが、2022年度は従来通り健診業務を行うことができました。引き続き今年度も地域の皆様にご利用いただけるよう努めていきたいと思っております。



人間ドック・健康診断受診者推移

2022年度は人間ドック4,624名、健康診断4,175名の方が受診されました。



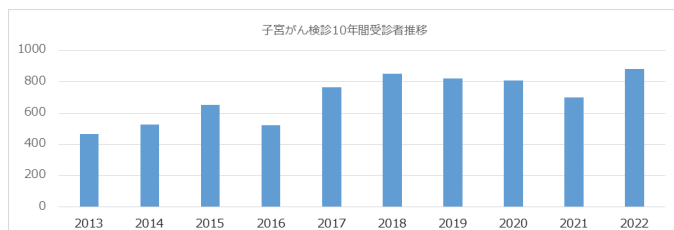
ミニドック（期間限定）受診者推移

2022年度は120名の方が受診されました。



子宮がん検診受診者推移※提携医療機関にて実施

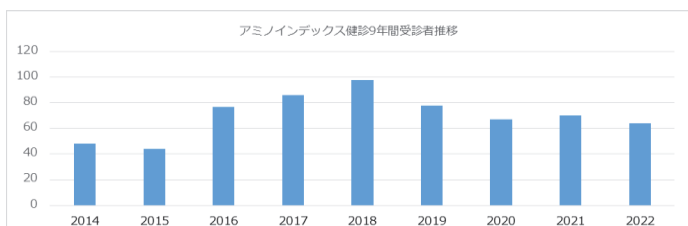
2022年度は881名の方が受診されました。



アミノインデックス健診受診者推移

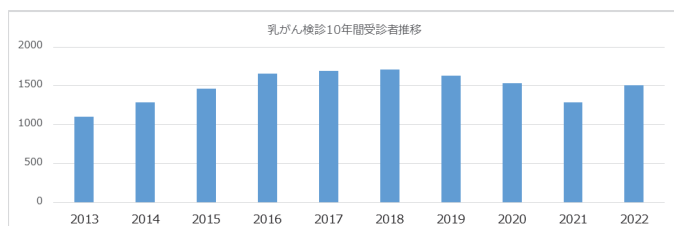
2022年度は、64名の方が受診されました。

将来、がん・糖尿病・脳・心疾患・認知症になるリスクを採血で調べる検査です。



乳がん検診受診者推移

2022年度は1,511名の方が受診されました。



Pink Ribbon Campaign 2023 開催案内

健康管理センター 保健師 田中 美陽子



いつも大変お世話になっております。

今、日本女性の9人に1人（2018年国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターより）が乳がんにかかると言われる時代となり、亡くなる方も年々増加しています。乳がんにかかる方は30代から40代にかけて急増し、ピークは40代後半から50代と言われてはいますが、50歳を過ぎてかかる方や若いうちにかかる方もいます。乳がんは、早期発見であれば約90%の方が治癒する病気であるため、日頃の検診やセルフチェックをしっかり行うことが大切と言われています。そこで当院では、一人でも多くの女性を乳がんから守るための活動として、今年も10月のピンクリボン月間にあわせ、キャンペーンを開催いたします。

例年同様、一人でも多くの方に検診を受けて頂くことが出来るよう、金曜夜間検診や、ジャパンマンモグラフィサウンデー（日曜検診）を実施致します。

ぜひ、今年もより多くの方にご利用頂きますようご案内申し上げます。

🎀 キャンペーン内容 🎀

特別料金による乳がん検診の実施

実施期間 10月2日（月）～10月31日（火）平日のみ

料 金	超音波検査	3,600円（税込）
	マンモグラフィ2方向	5,100円（税込）
	マンモグラフィ1方向	3,600円（税込）

「金曜夜間乳がん検診」の実施

開催日 10月6日（金）

時 間 17:00～19:00

締 切 1週間前までの完全予約制

「ジャパンマンモグラフィサウンデー（日曜検診）」の実施

開催日 10月15日（日）

時 間 8:30～12:30

締 切 1週間前までの完全予約制



ご予約・お問い合わせ先
帯広第一病院 健康推進室

TEL (0155) 25-3121【9:30～17:00 土日祝日除く】

※ 無料クーポン券の使用、各種助成制度の利用ができます。

※ 各種健康保険組合・市町村等の助成のある方は特別料金の対象外です。

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121（病院代表） / 0120-558-091（連携室直通）

FAX 0155-27-0248（連携室専用） e-mail renkei@zhi.or.jp

